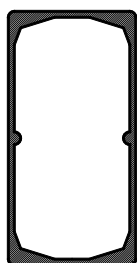


社 報



60×120 アルミ鋼管

型枠工事の生産性向上を図るために、60mm×120mm角のアルミ鋼管を製作します。もちろん当社のオリジナルです。この鋼管をマンション大引きに採用することで、サポートのピッチが約1,800mmピッチに飛ばすます。現場への資材搬入量の削減を目指します。



サイズ
60*120*2.8mm
重量
3.42kg/m
断面係数
43.67cm³



第10期 決算

お得意様・取引業者の皆様・社員の皆様など、多くの関係者の皆様のおかげを持ちまして、第10期の決算を終えることができました。

2年連続で赤字決算を計上してしまいましたので、ある意味「勝負の年」であったと思います。

赤字決算が連続することは、企業として社会から不要な存在とも言えるわけです。ただ経済情勢は大きく変化しますので、変化に追従できない場合は、短期的に赤字を計上する事があり、これは恥じることはありません。

しかし、中期的に赤字が連続することは、短期赤字の原因に手を打てず、ずるずると不採算を続け慢性的になる可能性があります。

これは経営的には最悪の状況であり、経営者は資金繰りに追われて倒産を待つばかりの状態になりかねません。そうすると、原因にも手を打てず、業績の不振を景気のせいであるとか、業界が過当競争になっているとか、自社の努力が足りないにも関わらず、周囲のせいや、環境のせい

し勝ちになります。

こうした最悪の状況に陥らないためにも、歯を喰いしばってでも黒字を計上することは大切なことです。

当社も第10期の決算が黒字になったことは喜ばしいことではありますが、役員や管理者の減俸など、まさに、血を流してでも黒字にしなければという思いがありました。

幸いにも建設業、特に専門工事業の景況感は昨年から上昇しつつあり、その波にもうまく乗れた感があっての黒字決算です。

血を流す努力はしましたけれど、景況感に助けられたとなると、これでは自社の力で叩きだした黒字とは言えません。

健全な黒字決算を実力で計上するためには、まだまだ不足しているものがあるのです。

社員を始め、お得意様・取引会社の皆様など、当社と接点のある方々のお一人お一人の心の思いがフォービルの存在を位置づけるのです。

皆様に心から応援していただける会社にならねばなりません。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

熱中症は予防を考える

7月を迎え、いよいよ本格的な夏がやってきます。建設現場でも我々型枠工事に従事する者は、日陰の少ない炎天下での仕事になります。毎年毎年のことではありますが、熱中症にはくれぐれも注意して、仕事を

現場でも、随時指導を受けています

が、前日からの体調調整・早めの水分補給・適度な休憩など、前もっての行動が熱中症を予防します。体力に自信がある方も、自信過剰にならないように予防に気遣い下さい。

それでも、気分が悪くなった時は、休憩で済まさず、すぐに病院で治療を受けるようにしてください。

2013年 安全成績

■現場災害 H25.1.1-H25.7.3	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 0
■交通災害 H25.1.1-H25.7.3	
人身災害	----- 1
物損災害	----- 1
合計	----- 2